



やまた 広報

No
872

今号の主な内容

- みんなで守ろう地域の宝
- 町民登場
- 県中総体で山中が大健闘
- みんなのスペース
- 町のわだい

- 2~3
- 4
- 5
- 6~7
- 9

飛んでけサンダルどこまでも

7月15日と16日、山田漁港とオランダ島を会場に「オランダ島まつり&ビーチフェスタ」が開かれ、2日間で6,500人の家族連れなどが訪れました。オランダ島会場で行われたビーチサンダル飛ばしでは、19.1mの大会新記録が飛び出し、砂浜には子供たちの歓声が響き渡っていました。

8月1日号 2006

子供たちを守る皆さんにお話を伺いました



子ども安全支援隊
藤原 義光さん
(北浜町・57歳)

隊員以外の方も
積極的な参加を

以前から北小おやじの会で同様の活動を行ってきていましたが、最近の事件を見て、やはり地域で子供たちを守ることは大事なことだと思います。普段は個人で時間の都合がつく限り見回りなどを行っていますが、定期的に隊員が集まって巡回する「見える活動」も実施したいと考えています。隊員以外の方でも、協力できる方は見回りに参加してほしいですね。



町PTA連合会会長
佐藤 吉孝さん
(八幡町・44歳)

安全に通学できる
環境をつくりたい

最近のニュースを見るたびに、同年代の子供を持つ親として心配になります。子供には知らない人にはついていくなとか、できるだけ人通りの多い道を通学するようにと言っています。地域の大人と子供たちが普段から接する機会を持つことで、子供たちが安心して通学できる環境がつけられるように、各団体と協力し合って取り組んでいきたいと考えています。



山田北小学校校長
菅野 宏郎さん
(宮古市・59歳)

地域との連携が
必要不可欠です

本校では、地域の方や北小おやじの会、交通指導隊などの皆さんのご協力により、毎朝の登校指導や子ども安全支援隊の皆さんによる放課後巡視などの活動に取り組んでいます。子供たちを安全に登下校させるためには、学校だけでは限界がありますので、地域の方やPTAとの協力が欠かせません。これからも地域ぐるみでの活動を続けていきたいと思っています。



7月19日に行われた子ども安全支援隊による一斉下校の様子(山田地区)

みんなで見守る地域の宝

子供たちが安心して暮らせる町に

最近、全国的に小さい子供を狙った痛ましい事件が発生しています。本町でも児童生徒が不審者から声を掛けられる事件が発生するなど、一歩間違えば凶悪な犯罪に発展する可能性もあり、もはや対岸の火事では済まされません。子供たちを事件や犯罪から守るため、地域や学校などでさまざまな取り組みが行われています。

宮古警察署山田交番によると、町内での不審者による児童生徒への声掛けは平成十七年に五件、今年は一月から七月までです。今年一月から七月までです。今年一月から七月までです。今年一月から七月までです。

「子ども安全支援隊」を結成

昨年四月、宮古警察署の呼び掛けにより、登下校時の児童生徒の安全を見守る「子ども安全支援隊」が各小学校に結成されました。七月二十四日現在、隊員数は町全体で九十八人に上り、

地域住民だけでなく民生児童委員や老人クラブなど、さまざまな分野の方がボランティアで活動に参加しています。同隊は登下校時に学区内を巡回したり、一斉(集団)下校に付き添ったりするなど、見回りや見守りを主な活動としています。そのほか、学校で独自に行っている活動として、山田南小学

学校や各団体でも独自の活動

◆不審者による児童生徒への声掛け発生状況 [平成18年]

日時	場所	状況	不審者の特徴
2月23日 午後5時半ころ	織笠地区	下校途中の女子中学生が道端でズボンを下ろしている男を目撃。男は自転車で逃走した。	40歳くらい、身長170センチくらい、やせ型、ジャージ姿の男
4月10日 午後6時半ころ	織笠地区	下校途中の女子高校生2人に対し、近づいてきた男がひわいな言葉を掛けてきた。	40歳~50歳、身長165センチくらい、中肉の男
4月13日 午後4時半ころ	飯岡地区	下校途中の女子高校生2人に、近づいてきた車から不審な男が声を掛けてきた。	黒っぽい車に乗った20代後半の男
4月19日 午後1時50分ころ	大浦地区	男子小学児童に、「お母さんが山田に行ったから一緒に行こう」と誘い、車に乗せようとした。	黒い野球帽、黒のサンングラス、白いマスク、黒のジャンパーを着た男
4月27日 午前11時ころ	織笠地区	女子高校生が車で近づいてきた不審な男から声を掛けられ、メモを渡された。	20代後半、身長175~180センチくらい、中肉、チェック柄のシャツ、黒の乗用車

- 1 いかない
知らない人にはついていかない。
- 2 のらない
知らない人の車には乗らない。
- 3 おおごえをだす
自分や友達が連れていかれそうになったら、「たすけて」と大きな声を出す。
- 4 すぐにげる
大人のいる方や、近くの店や家に逃げる。
- 5 しらせる
どんな人が何をしたか、先生や家の人に知らせる。

「イカのおすし」 みんなで見えよう

身を守る手段を教えるのも大切

宮古警察署山田交番所長
鬼同 健さん
(中央町・57歳)



「イカのおすし」は、子供たちが注意すべきことを警視庁が分かりやすくまとめた標語です。地域や学校、PTAなどで子供たちを守るだけではなく一人になったとき何もできず、子供たちにとって良くないことだと思います。子供たちに自分の身を守る手段を教えることも大切ですね。

子供たちは明日の山田を支える「地域の宝」。その子供たちが安心して通学できる町にするためには、多くの皆さんのご協力が必要です。子ども安全支援隊などに参加していない方も、登下校の時間に外出するようにしたり、通学する子供たちとあいさつを交わしたりすることで、立派な見守りの活動になるほか、人が外にいることで、犯罪を抑制する効果も期待できます。

各学校は夏休みに入り、子供たちは大人の目を離れて外で遊ぶ機会が多くなります。外で遊んでいる子供たちを見かけたら、少しだけ気を配っていただきませう、お願いします。

大浦小学校では、昨年作成した通学路安全マップを利用して、犯罪に巻き込まれないための危険場所の点検とマップ作りを計画。児童たちがPTAや地域の方々と協力して、年内の完成を目標としています。

また、学校以外にも山田BBS会(川石睦会長・会員三十八人)では、通学時間である午前八時と午後三時に外出して子供の安全を見守る「83運動」への協力を呼び掛けています。



南岩手杯全国民謡コンクールで優勝した
佐々木ゆみ子さん (船越・47歳)

民謡通じ人の役に立てたら

「成績発表で自分の名前が呼ばれたときは、あまりの驚きにしばらく立てませんでした」と話す佐々木ゆみ子さん。六月二十五日に平泉町で行われた南岩手杯全国民謡コンクールで、初出場ながらも見事優勝に輝きました。

大会には全国から選ばれたのど自慢百五十人が参加。佐々木さんは「出場者は各種大会で優勝している実力者

「歌で慰問先のおじいちゃんやおばあちゃんに喜ばれたり、街でいろいろな人から『民謡頑張ってね』と声を掛けられたりと、民謡を通じて人と触れ合う機会が増えたことが楽しいです。少しでも皆さんの役に立てるんだ、と実感できることがうれいいですね」と笑顔で話します。

今後の抱負については「これからも皆さんに喜んでもらえるように、いろいろな大会で優勝目指して頑張ります」と意欲をのぞかせていました。

自ら所属する山田民謡伝承会（阿部實会長・会員十人）で

介護施設などへ慰問に行くなど、社会福祉活動にも力を注ぐ佐々木さん。

鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する会を設立

「善幸さん」の遺徳を後世に



7月2日に行われた総会の様子

「漁民宰相」として親しまれた元首相の故鈴木善幸さんを顕彰する会が設立され、その総会が七月二日、町中央公民館を会場に行われました。会場には設立の趣旨に賛同した沿岸市町村長や漁協関係者、町

内の各種団体の代表など六十人が出席しました。会に先立ち、準備会会長の沼崎喜一町長が「この事業は後世に善幸さんの遺徳を伝えるため、何としても成功させなければなりません」とおっしゃいます。皆さんのご支援をお願いしたい」とあいさつ。その後規約の制定や役員を選定し、沼崎町長が会長に選ばれました。

同会は生誕百年となる二〇一一年に鈴木善幸像と顕彰碑の建立、鈴木善幸記念館建設基金の積み立てを主な事業とし、資金として三千万円を目標に募金活動を展開していく予定となっています。

人権擁護委員に湊さんを再任



人権擁護委員に再任された湊多喜郎さん

北浜町の湊多喜郎さん(74)が、このほど人権擁護委員に再任され、法務大臣から7月1日付けで委嘱されました。任期は向こう3年間です。

人権擁護委員は、わたしたちの基本的な人権が侵されないよう監視し、万が一侵害されたときは、救済のため適切な措置をとることを任務としています。

◆本町の人権擁護委員 ▶湊多喜郎 (☎82-5865)▷吉田徳右エ門 (☎84-2549)▷港安子 (☎84-2269)▷田代省平 (☎82-2584)▷内田真由美 (☎86-3292) 《敬称略》

県中総体で山中が大健闘

相撲や柔道などで上位入賞

第五十三回県中学校総合体育大会が七月十五日から十七日まで行われ、山田中学校の選手が大活躍しました。

県営武道館相撲場で行われた相撲競技では、個人二年の部に荒川平君が出場。決勝リーグではほかの選手を寄せ付けず、五戦全勝で見事優勝しました。さらに全国大会代表決定戦でも荒川君は、準決勝で敗れたものの第三代表決定戦で勝利し、全国大会への切符を手に入れました。



相撲で全国大会と東北大会への出場を決めた荒川平君

で敗れましたが、堂々の準優勝を飾りました。女子個人では63キ級で鈴木夕葵さんが準優勝、同52キ級で上林知瑛子さんが3位、同57キ級で福士夏実さんが3位に入賞しています。

ソフトテニス競技は盛岡市の太田コートで行われ、山田中は男子団体で順調に勝ち進み、決勝リーグへと進出。リーグ戦を一勝二敗で終え、見事3位に入賞しました。また、個人の部でも福士大輝・松本恒太組が3位に入賞しています。

◇ ◇ ◇ ◇
この結果、相撲個人二年の部で荒川君、柔道女子団体と女子



団体と個人で上位に入賞した柔道部女子



団体と個人でそれぞれ3位に入賞したテニス部男子

個人63キ級の鈴木さん、ソフトテニス男子個人の福士・松本組がそれぞれ東北大会への出場を決めています。

◆団体出場選手 柔道女子：

佐々木宥茄、鈴木夕葵、福士夏実、白井智美（以上三年）、上林知瑛子（二年） ソフトテニス男子：福士大輝、松本恒太、泉川陽、五十嵐公介、佐藤直紀、佐々木智大（以上三年）、山崎康浩（二年）、佐藤悠介（同） 《敬称略》

荒川君が中学生相撲選手権で全国大会へ

七月八日に県営武道館で行われた全国都道府県中学生相撲選手権大会県代表選手選考会で、荒川君が準優勝し、全国大会への出場が決まっています。

第35回岩手県少年軟式野球兼第23回全日本少年軟式野球大会

豊間根中が初の準優勝

第35回岩手県少年軟式野球大会兼第23回全日本軟式野球大会の岩手県予選が開催され、豊間根中野球部が準優勝する活躍ぶりを見せました。

大会は6月24日、25日と7月1日に町総合運動公園野球場などで開催され、県内から30チームが参加。豊間根中は僅差で競り合う熱戦を繰り広げながら勝利を収め、決勝へと進出。決勝戦では強豪の福岡三葉クラブ（二戸市）と対戦し0対9で敗れましたが、創部以来初の準優勝に輝きました。

7月8日には町総合運動公園野球場で開催された全日本軟式野球大会東北Bブロック予選に出場し、弘前



準優勝の喜びに沸く豊間根中野球部選手の皆さんと長谷川勝監督（後列左端）、尾形英一コーチ（後列右端）

一中クラブ（青森県）に0対2で惜しくも敗れています。また、7月29日には青森県平川市で開催された第10回東北学童少年軟式野球兼ベースボール・マガジン社杯争奪野球大会に出場し、塩釜一中クラブ（宮城県）に0対2で敗れましたが、県代表として堂々としたプレーを随所に見せていました。

皆様のご協力に感謝!!



山田BBS会

オランダ島で清掃活動

7月9日、山田BBS会(川石睦会長・会員38人)主催の「オランダ島清掃活動」が行われました。海水浴シーズンを前に観光客に気持ちよく楽しんでもらおうと2年前から実施しているもので、今年は同会の会員や町観光協会、マリンツーリズム山田、山田の魅力発信実行委員会のメンバーら25人が参加。海岸周辺に漂着した清涼飲料水のペットボトルや空き缶、発泡スチロールなどのゴミを拾い集めたほか、草刈り機を使って津波の際に避難路になる遊歩道の草刈りに汗を流しました。約2時間の作業で海水浴場はきれいによみがえりました。



長崎地区土曜会

赤松林道の草刈り奉仕

有志でつくる「長崎地区土曜会」(後藤清郎会長・会員11人)が7月15日、22日、23日の3日間、奉仕活動として赤松林道の草刈りを行いました。日ごろ長崎地区の住民が健康のためウォーキングコースとして利用している同林道に草が生い茂り危険であることから、初めて行ったものです。会員の皆さんは草刈り機で道路脇の草を刈り取ったほか、空き缶などのごみを丁寧に拾い集めました。後藤会長は「自分たちが利用する所は自分たちで環境を整えることも必要だと思います。これからもこの活動を続け、地域に貢献していきたい」と話していました。

イラスト



昭和二十年の終戦を境にした戦前と戦後、戦前派のわたしたちが食べていたバナナといえはほとんどが台湾バナナでした。わたしも台湾物の味にどっぷりとなじみ、戦後世界中から輸入されて来るバナナの味が口に合うまではちょっと年数を要しました。同年代の皆さんはどうでしたでしょうか。ですが、若いときに南洋で暮らしたことがあったわたしは、トロピカルフルーツのバナナも大きな馬バナナ、小さいモンキーバナナ、先端が細かいグロス系(ちよっと味が落ちる)、先端まで太いキャビン

ドイツシュ系(とてもおいしい)ということぐらいは体験して分かっていた。バナナもいろいろ人もいろいろそれぞれゆかしい味があって奥深く楽しい。いまや飽食の時代。顧みれば老いへの身が今昔が染みる。
ペンネーム・山田北州 (山田・85歳)

益金約四万七千円を「花いっぱい運動」資金として町内三つの幼稚園・保育園(所)に贈る運びとなりました。今後とも同会の活動に対しまして、ご支援ご協力をお願い致します。
山田BBS会会長 川石睦
潮騒ぐ船越港の朝明けを
サンマ船かも今し行出ゆく
菊地孝進(船越・84歳)
朝霧も森の緑も郭公の
鳴く声包みて夏は来ぬや
沼崎悦子(船越・64歳)
合併論夢の先ですおらが町
佐藤兼男(荒川・79歳)

みんなのスペース



やまざき あゆみ ちゃん
(わかき保育園・6歳)

わたしのゆめ

大きくなったら花屋さんになって、ヒマワリやスミシの花をみんなに売ってあげたいな。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

待ち遠しい秋の町民芸術祭

秋恒例の町民芸術祭が待ち遠しい。と言うのも過去七、八年以前から自分なりの愚作品が連続金賞になり、ファイナルが沸いてきたせいかも知れない。わたしの場合、高齢者大学の部門で年配の出品者を喜ばすための意欲をたらず賞かなと理解しているが、それにしてもありがたいうことと感謝している。そしてまたシーズンが迫ると、描く題材に悩むこともあるが、何とか来る秋の愚作品も完成しホッとしている。ボケ防止に欠かせない気がしている。

山田よいと好きな町(五)

続、バナナ——。昭和三十年代ころに、家内と二人で町のスーパーへ開店の手伝いに行きました。ところが唐突に店の管理人を頼まれて、工事中だったのに管理人室で夫婦泊りがけのお勤めになりました。すでにチラシで開店日が予告されているので、それに間に合わせようと連日の突貫工事でした。毎日頭にガンガン響くかまびすしい音、

古里への便り⑮



ふる里山田同郷の会幹事
千葉県千葉市
菊地 宏 夫さん(52歳)
(中央町出身)

千葉に就職して二十八年になります。この原稿の依頼をいただいたとき、こちらでの生活のほうが山田で過ごした時間よりずっと長いんだなと、あらためて感じました。盆と正月には山田に帰って、何日かいい空気を吸わせてもらっています。ちょうど七年前に二十年勤めた会社を辞め、九人で今の会社を始めました。みんなの頑張り

で創設から七年間、一度の赤字も出さずに何とかやってきています。会社としては設備工事会社ということになり、主な仕事の内容は上下水道施設の設備工事(ポンプ、電気、発電機設備など)、民間では銀行の空調設備工事などです。会社の経営状態はまだ安定した状態には至っていませんので、一年一年が勝負です。子供は二人おり、下の子は高校二年生の女の子。しばらく現役で汗をかきたいと思っています。諸先輩の方々、同級生の皆さん、お元気で過ごしてください。

なにやら分からぬ薬品の鼻をつく刺激的な臭いなどに悩まされる毎日でした。でも工事は順調に進み、開店が間近になったころ家内は肉の販売を、わたしは魚介類と青果物を担当するようになると言われたが、家内は早速一関市の肉屋の大手へ勉強に行きました。わたしの方は、魚介類は一応経験あるが青果には知識が無かったので、急ぎよ仙台の大型店へ講習を受けに行きました。他県からの人々もたくさん来ていて、一緒に受講しました。

講義中に先生が、「日本でバナナを一番食べる県はどこですか」と尋ねられたが、誰も答えなかった。講師は、「日本一は青森県です」とニヤニヤしながら言われた。そして「バナナが良く売れるとリンゴが売れなくなる。だから青森の人たちはバナナ憎しやと、もりもりとたくさん食べるのです」と。この話、本当かどうかちよっとまゆつばもののような気もするが、現在はこの県が日本一なのでしょう。



鯨と海の絵画コンテスト

町内から1,098通の応募



7月22日に行われた表彰式の様子

「鯨と海の絵画コンテスト」の表彰式が7月22日、鯨と海の科学館で行われました。今年で7回目となる同コンテストには、町内の小学生から1,098通の応募がありました。式には同コンテストで入賞した27人のうち19人が出席。阿部哲雄館長から入賞者一人一人に賞状と記念品が手渡されました。入賞した皆さんは下記のとおりとなっています。

なお、同館では応募作品の展示会を9月30日まで開催しています。応募されたすべての作品が展示されていますので、どうぞご来場ください。

●コンテストに入賞した皆さん

◆低学年（1・2年）の部

最優秀賞…木下葵（山田南小1年）
優 秀 賞…溝上詩織（同2年）、甲斐谷こころ（同1年）、山崎翔偉（船越小2年）
努 力 賞…平石志菜（山田南小2年）、佐藤真歩（同1年）、武藤広太郎（同1年）、中村奈緒（大沢小2年）、齋藤麻衣（荒川小2年）

◆中学年（3・4年）の部

最優秀賞…金浜百果（山田南小3年）
優 秀 賞…福士諒（山田南小3年）、山崎千穂（同3年）、佐々木栞奈（船越小4年）
努 力 賞…小國剛大（山田南小3年）、中屋脩平（山田北小3年）、長根芽吹（船越小4年）、山崎安紗（同3年）、昆雅人（織笠小4年）

◆高学年（5・6年）の部

最優秀賞…佐藤観樹（船越小6年）
優 秀 賞…佐々木遥（山田南小5年）、川端美緒（船越小6年）、佐藤知子（轟木小6年）
努 力 賞…佐々木馨一（船越小6年）、渡磯早穂（大浦小5年）、倉澤祐稀（轟木小5年）、糠森和（同5年）、木村洋人（豊間根小6年） 《敬称略》

第57回岩手県民体育大会 優勝おめでとう



団体で優勝した本町チームの皆さんと山田相撲協会の湊謙会長（後列右から2人目）

相撲団体で4年ぶりの優勝

県民体育大会・相撲競技の町部の部団体で、本町チームが優勝を飾りました。大会は七月八日と九日、県営武道館相撲場で行われ、同団体の部には六チームが出場。決勝リーグで本町チームは五戦全勝で圧勝し、四年ぶり二度目の優勝旗を手にしました。

また、成年個人の部では、舛田さんが3位に入賞しています。
◆出場選手 蒲野喜浩、舛田克己、加藤紀彦、黒澤寛

《敬称略》

ゲートボール

65歳以上の部で頂点に



2年ぶりの優勝に喜びの本町ゲートボールチームの皆さん

県民体育大会・ゲートボール競技六十五歳以上の部で、本町チームが優勝しました。大会は七月八日と九日に一関市で行われ、県内から三十一チームが参加。試合は八試合の成績を競う形式で行われ、本町チームは六勝二敗で二年ぶり六度目の栄冠に輝きました。

◆出場選手 豊間根和七、佐藤光夫、大町チヨ、及川たよ、中村キミヨ、佐々木善助、三ヶ尻キノエ、佐々木三由

《敬称略》



今月の題字
かず と
菊地和人君
(織笠小6年)

田丁のおだい

ロシア出身 画家 フェドロフさんが来町 山中生徒に絵のアドバイス

7月21日、ロシア出身の画家ユーージーン・フェドロフさん(アメリカ在住・42歳)が山田中学校を訪れ、美術部部員17人に絵画の指導を行いました。これは、7月22日から24日までびはんホールで開かれた「現代国際巨匠絵画展」に合わせて行われたものです。フェドロフさんは、生徒たちが描いた水彩画2作品を見て「皆さんの個性が出ていて、とても良い作品ばかりです。自分の頭や心の中にあるイメージを大切に、すてきな絵を描いてください」とアドバイスを送っていました。



県下少年 剣道大会 山田斉心館が3位入賞 2年連続で全国大会へ出場

県知事杯争奪第45回県下少年剣道大会で、山田斉心館が3位に入賞しました。大会は6月18日、県営武道館で行われ、小学生の部には115チームが参加。初戦から順調に勝ち進んだ山田斉心館は準決勝で軽米雁舞館(軽米町)と対戦。惜しくも0対4で敗れましたが、堂々の上位入賞を果たし、2年連続で全国大会への出場を決めました。

◆出場選手 堀合亮平(織笠小5年)、福士紀之(山田南小6年)、佐々木正純(織笠小6年)、中村美里(轟木小6年)、黒澤貴(山田南小6年)、千葉直樹(織笠小5年)

嵯峨流藤舞会から町に善意 福祉向上にと10万円を寄付

7月5日、日本舞踊の嵯峨流藤舞会(北田美津子会主)が町に10万円を寄付しました。町内外約60の企業・団体の協賛により6月25日に町中央公民館で開催した嵯峨流藤舞会チャリティー公演の益金を贈ったもので、贈呈式には北田会主ら5人が役場を訪問。北田会主が「町の福祉向上に役立ててください」と沼崎喜一町長に寄付金を手渡しました。これに対し沼崎町長は「大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



保留地4カ所を販売します

9月1日から受け付け開始

抽選会の開催日程

- 町では、柳沢北浜地区土地区画整理事業の保留地を販売します。購入を希望される方はお申し込みください。購入者は、申込者の中から抽選で決定します。
- ▽販売する保留地の概要 下表のとおり
- ▽申し込みできない人
 - ▽成年被後見人、被保佐人、被補助人、破産者で復権を得ない人
 - ▽申し込み方法 役場地域整備課に備え付けの申込用紙に必要事項を記入して提出してください。
 - ▽申込期間 九月一日～十五日
 - ▽抽選保証金 一万円
 - ▽抽選保証金は原則として、申込者ご本人が出席してください。
 - ▽抽選会には原則として、申込者ご本人が出席してください。
 - ▽現地説明会は開催しませんので、ご不明な点は直接お問い合わせください。
 - ▽抽選課区画整理担当（内線253）へどうぞ。
- ▽期日 九月二十八日（木）
- ▽受付時間 午前九時半～
- ▽場所 町中央コミュニティセンター

◆販売する保留地の概要

位置	面積	価格
57街区12	104.34㎡（約31坪）	4,330,100円
57街区13	171.10㎡（約51坪）	6,912,400円
70街区5	741.88㎡（約224坪）	32,197,500円
76街区5	685.10㎡（約207坪）	28,637,100円

保健のコーナー

介護予防教室のボランティアを募集

山田町地域包括支援センターでは、8月28日から介護予防教室（65歳以上の方が対象）を開催するに当たり、同教室の運営に協力してくれるボランティアを募集します。



どなたでも応募できますので、介護予防教室を手伝いながら介護予防について一緒に学んでみませんか。介護予防に興味のある方はぜひご応募ください。

- ◆活動期間 8月28日～来年2月末（介護予防教室は2週間に1回開催する予定です）
- ◆活動場所 町保健センター
- ◆活動内容 介護予防教室の会場設営・片付け、受け付け、体力測定や筋力アップ体操などの補助、健康についての学習・交流の手伝いなど
- ◆応募期限 8月18日
- ◆応募先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター（役場保健福祉課内 ☎82-3136）へどうぞ。

21日から結核検診を実施

町では、8月21日から9月1日まで町内各地区で結核検診を行います。結核検診は、結核予防法により65歳以上の方すべてを対象に年1回受診することが義務付けられています。対象となる方には通知書を送付していますので、日程表を確認の上、忘れずに受診してください。

通知書は4月1日現在で65歳以上の方に送付していますが、検診実施時期までに65歳になる方や通知書が届かなかった方でも受診することができますので、日時と場所をお問い合わせの上、直接会場へお越しください。

なお、病院などで受診した方や検診当日に不在の方は、通知書の「受診しない」欄に理由を書いて、検診会場が役場保健福祉課へ届けてください。

- ◆問い合わせ 役場保健福祉課健康管理担当（☎82-3111内線161）へどうぞ。

町長室から

七月二十二日、第五十三回岩手県相撲選手権大会が前須賀の相撲場で行われました。山田町での開催は今回で三回目ですが、十年ぶりの大会で本町選手の活躍が目立ちました。団体戦では本町選手が主力の沿岸Aチームが七年ぶりの優勝を飾りましたし、個人戦でも一部では五十嵐敦選手（浄法寺高校三年）が6位、二部では舩田克己選手（はまなす学園）が2位、黒澤寛選手（社会福祉協議会）が4位、五十嵐正選手（山田郵便局）が6位に入賞しました。沿岸Aチームでは、個人戦で活躍した五十嵐敦舩田両選手のほかに、加藤紀彦選手（山田町役場）、蒲野喜浩選手（シーサイドカ）も出場して優勝に貢献しました。相撲競技は東北地方が盛んですが、市町村合併や高校再編で勢力図が大きく変わろうとしています。山田町の相撲協会の皆さんは、さらなる飛躍を目指して努力しています。

山田町長 沼崎喜一



まちで出会ったかわいい笑顔

おしらせ

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス

<http://www.town.yamada.iwate.jp/>

広報クイズ 230

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- 自分の身を守るため子供たちが注意すべきことを分かりやすくまとめた標語は？
 ①タコのおすし
 ②タイのおすし
 ③イカのおすし
- 「鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する会」が設立されたのは7月の何日？
 ①2日 ②12日 ③22日
- 7月に奉仕活動として、3日間赤松林道の草刈りを行った団体は？
 ①飯岡地区土曜会
 ②長崎地区土曜会
 ③長崎地区日曜会
- 今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん11人のうち、男の子は何人？
 ①1人 ②2人 ③3人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。

【応募先】 〒028-1392 (住所記載不要) 山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 8月21日 (当日消印有効)

☆前回の正解は①-B、②-A、③-C、④-Bでした。応募者数は30通で正解は29通、抽選の結果次の10人が当せんしました。

川向町=中村智子(26) 八幡町=澤田大輝(6) 長崎=小林沙紀(13) 中央町=長澤和也(8) 大浦=沼崎聖奈(?) 織笠=坂本恵(16) 大沢=藤田琉伽(0) 豊間根=伊藤有紗(14)、佐々木レミ子(62) 神奈川県川崎市=外木宏明(32) <敬称略>

宮古高校吹奏楽部 定期演奏会を開催

宮古高等学校吹奏楽部第44回定期演奏会が開かれます。第1部、第2部はアレンジ曲とオリジナル曲のステージ、第3部は劇を交えたポップスステージが楽しめます。

- ▷日時 8月12日(土) 午後1時半開演 (午後1時開場)
- ▷場所 町中央公民館大ホール
- ▷入場券 大人…350円(当日400円) 高校生以下…250円(当日300円)
- ▷入場券取扱所 町中央公民館、マリンコープDORA
- ▷問い合わせ 県立宮古高等学校吹奏楽部顧問(高橋、細野 ☎62-1812) へどうぞ。

新しい専門高校の 校名を募集します

現在の釜石工業高等学校と釜石商業高等学校が統合し、平成21年4月から工業科と商業科を設置する新しい学校として生まれ変わります。この新しい専門高校にふさわしい校名を募集しますので、ご応募ください。

- ▷応募方法 役場1階町民ホールの情報公開コーナーに備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、郵送またはFAXで応募してください。
- ※Eメールでの応募もできます。
- ▷応募期限 8月31日
- ▷応募先・問い合わせ 釜石地区総合的専門高等学校(仮称)整備検討委員会事務局(県立釜石工業高等学校内 〒026-0002 釜石市大平町三丁目2番1号 ☎0193-22-3029 FAX0193-31-1533) へ。

8月の行政相談日

- ▷日時 8月17日(木) 午前10時~正午
- ▷場所 町中央コミセン
- ※行政について納得できないことなどご相談ください。

親子エコスクール 皆様のご参加を

- ▷期日 9月2日~3日
- ▷場所 陸中海岸青少年の家
- ▷内容 森・川・海の生き物や植物の観察、星空観察、ネイチャーゲームなど
- ▷対象 小学校高学年~中学生とその保護者など
- ▷参加費 無料
- ▷申込期限 8月16日
- ▷申込先・問い合わせ 宮古地方振興局保健福祉環境部環境課(☎64-2218) へどうぞ。

各種就職面接会を 宮古と東京で開催

- 宮古・下閉伊地区ふるさと就職面接会
- ▷日時 8月13日(日) 午前9時~正午
- ▷場所 宮古市民総合体育館
- ▷対象 U・Iターン希望の社会人、来春卒業予定の大学・短大・専門学校の学生、地元就職希望者(高校生を除く)
- ▷内容 参加企業と就職希望者の個別相談、各市町村の地域情報や生活関連情報の提供
- ▷問い合わせ 宮古公共職業安定所(☎63-8609) へどうぞ。
- 岩手県U・Iターンフェア
- ▷日時 8月27日(日) 午後1時~4時
- ▷場所 東京交通会館12F(東京都千代田区有楽町)
- ▷対象 首都圏在住のU・Iターンを希望する社会人など
- ▷内容 参加企業との個別面談、就職情報の提供・相談など
- ▷問い合わせ 財団法人ふるさとといわて定住財団(☎019-653-8976) へどうぞ。

8月の町長面談日

- ▷日時 8月11日(金) 午前10時~正午
- ▷場所 役場4階特別応接室
- ※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

公民館ロビーで 日本画展を開催

- やまだ日本画クラブでは、日本画展を開催します。
- ▷期間 8月2日~12日
- ▷時間 午前9時~午後4時
- ▷場所 町中央公民館ロビー
- ▷内容 日本画約30点の展示
- ▷問い合わせ 町教育委員会事務局文化担当(内線624) へ。

各種資格を取得し 仕事に役立てよう

- 介護支援専門員実務研修受講試験
- ▷受験資格 保健・医療・福祉分野で5年以上かつ900日以上の実務経験を有する人など
- ▷試験日時 10月22日(日) 午前10時~
- ▷試験会場 岩手産業文化センター・アピオ、岩手県立大学(いずれも滝沢村)
- ▷受付期間 8月22日~30日
- ▷申込書の請求先 役場保健福祉課介護保険担当(内線163)
- ▷申込先・問い合わせ 財団法人岩手県長寿社会振興財団(☎019-629-2300) へ。
- 排水設備責任技術者試験
- ▷受験資格 ・下水道に関する技術上の実務経験が1年以上ある高校卒業以上の人 ・土木工事の実務経験が5年以上ある人
- ▷試験日時 10月29日(日) 午後1時~
- ▷試験会場 岩手産業文化センター・アピオ(滝沢村)
- ▷受験料 3,000円
- ▷申込先・問い合わせ 8月31日までに役場地域整備課下水道庶務担当(内線212) へ。

第1回山田町議会臨時会

- ▷日時 8月7日(月) 午前10時~
- どなたでも傍聴できます。詳しい日程などについては、町議会事務局(☎82-3114) へお尋ねください。

おめでた・おくやみ

6月届け出分(敬称略)
〔出生〕()は保護者名と性別
 ▷山田 溝上淳也(裕教・男)、内館倫太郎(勝・男)、駿河穂奈美(秀一・女)、吉田凜(祐司・女)、佐藤聖哉(学・男)、武藤愛果(嘉宜・女)、高橋梨々花(露樹・女)、小原望鈴(裕毅・女)
 ▷船越 金澤昂大(伸泰・男)、佐藤響弥(純一・男)、佐々木花夏(圭志・女)
 ▷織笠 佐藤隆貴(信明・男)
 ▷大沢 花坂友愛(裕史・女)
 ▷豊間根 関大吾(智一・男)、外館優葉里(隆則・女)

〔結婚した二人〕()は住所
 佐々木哲司(川向町)・内竹久美子(船越)
 山崎友勝(大浦)・水車夏江(宮古市)
 三野宮広道(大槌町)・湊鮎美(山田)
 箱石直己(大沢)・巖岩章子(宮古市)
 村上孝也(宮古市)・佐々木徳子(織笠)
 湊勝利(織笠)・阿部愛(船越)
 山田宜幸(長崎)・石崎栄子(宮古市)

〔死亡〕()は年齢
 ▷山田 佐藤朝太郎(60)、佐藤哲郎(78)、澤田善男(89)、遠藤まつ子(70)
 ▷田の浜 三浦シノブ(68)
 ▷船越 菊地マサ(80)、菊地夕子(88)
 ▷大浦 阿部美智子(72)
 ▷大沢 及川弘喜(70)、福士力男(75)、大町間一(71)、川井歌子(75)、鈴木勝美(62)、福士節郎(73)、熊谷今之助(77)
 ▷豊間根 久保サヨ(80)、佐藤サツ子(72)
 ▷荒川 佐藤サメ(95)

町民のうごき

(6月1日~30日)

▷出生……15人	▷転入……29人
▷死亡……19人	▷転出……27人

▷人口…20,549人(今月減 2人)
 男…9,868人 女…10,681人
 ▷世帯数……………7,267世帯

ピンボケ

◆ピーチフェスタ前夜のサンセットクルージングを取材し、久しぶりに船上から見る湾内の風景に、思わず仕事を忘れて見入ってしまいそうになりました。**和**
 ◆先月、不覚にもぎっくり腰なるものを体験しました。寝返りすらままならず、三日間寝たきり状態に…。健康が何より一番であることを実感した次第です。**幸**






山崎涼椰
(飯岡・正和・女)

芳賀 茄
(豊間根・正善・女)

鎌田舞花
(八幡町・雅和・女)



8月生まれ

赤ちゃん紹介

一歳になりました



白間理奈
(長崎・敏明・女)

中村秋斗
(豊間根・通・男)



※敬称略・()内は地区名、保護者、性別です。



坂本みなみ
(八幡町・一之・女)

鈴木 纏
(長崎・淳一・女)






佐々木千尋
(豊間根・秀浩・女)

及川京香
(飯岡・新吾・女)

芳賀みずぎ
(飯岡・力・女)

上林雄斗
(織笠・善博・男)

地上デジタルテレビ放送 完全移行まであと5年

地上デジタルテレビ放送は、2003年(平成15年)12月1日から関東、中京および近畿の一部において開始され、今年末までにはすべての都道府県庁所在地で開始されることとなっています。現行の地上アナログテレビ放送は、地上デジタル放送への移行に伴い、2011年(平成23年)7月24日までに終了します。

岩手県内では、NHK盛岡放送局が昨年12月1日から地上デジタルテレビ放送を開始。現在、盛岡市から一関市までの北上盆地沿いと周辺町村の一部エリアで視聴することができ、今年10月には同エリア内で民放4局も放送を開始する予定です。県内各放送局では2011年7月の地上デジタル放送の完全移行に向け、順次視聴エリアを拡大していくこととしています。

地上デジタル放送を視聴するには、▶地上デジタル放送対応のテレビに買い換える▶地上デジタルチューナーを買い足すなどの方法があります。詳しくは下記へお問い合わせください。

◆問い合わせ

- 受信相談…総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(☎0570-07-0101)
- 視聴エリア…社団法人地上デジタル放送推進協会(URL <http://www.d-pa.org/>)